キリスト教文化特講I					単位数	2単位
授業コード	15820	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2023年度第１期	
担当者氏名	岡田　紅理子					
時間割備考						
授業形態（主）	１講義					
授業形態（副）	２演習					
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						

本授業の概要

キリスト教は世界最大の信者数を擁する宗教だといわれる。しかし、一口に「キリスト教」といっても、カトリック教会、プロテスタント教会、東方正教会に大別されるうえに、形成された背景、組織としてのあり方、信者が置かれてきた状況などはさまざまである。さらに、世界各地に広まっていくなかで、キリスト教は宣教地に影響を与えるだけではなく、自らもその土地の文化的要素を取り入れ、地域・国によって異なる発展を遂げてきた。
本科目のねらいは、「東アジア」および「東南アジア」と呼ばれる地域におけるキリスト教（特にカトリック教会）の歩みと現在のありようを、それぞれの土地の宗教、社会、文化との関係から検討することにある。1期では「東アジア」に、2期では「東南アジア」に注目する。

アクティブラーニングの実施内容	発見学習

	到達目標	対応するディプロマポリシー（１知識・技能/２思考・判断・表現力/３主体性）
1	授業で取り上げられた国・地域の情報に偏ることなく、その土地のキリスト教の個別性を論理的かつ具体的に説明できる。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2	授業で取り上げられた国・地域におけるキリスト教のありようについて、関連性や共通性を考察できる。	思考・判断・表現力／主体性
3	授業に関連する事柄をインターネットに頼らず書籍・論文から主体的に調べ、課題に反映できる。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
4		
5		

	成績評価の基準	対応する到達目標の番号
1	授業に対する取り組み態度　20%	1／2／3
2	リアクションペーパーおよびプレゼンテーション　40%	1／2／3
3	レポート　40%	1／2／3
4		
5		

実務経験のある教員による授業科目	

実務経験の授業への活用方法

日本語以外の言語による授業	

授業予定一覧

1.　イントロダクション
2.　キリスト教宣教のはじまり
3.　「東アジア」とは
4.　台湾①「四大族群」がつくってきた社会
5.　台湾②「麗しき島」とキリスト教
6.　台湾③日本植民地統治から「光復」後のキリスト教
7.　プレゼンテーションの構想
8.　中国、香港、マカオ
9.　モンゴル
10.　韓国、北朝鮮
11.　日本①日本キリスト教史の見取り図
12.　日本②戦国大名たちと宣教師
13.　レポート講評
14.　日本③迫害と潜伏、そして現代
15.　まとめ

定期試験
レポート
試験のフィードバックの方法
メールでの質問を受け付ける。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
（予習）講義で取り上げる国・地域における昨今の事情について新聞や雑誌で調べ、読む（30分）。 （復習）講義内容を確認、整理するとともに、紹介された書籍を読む（30分）。
必携書（教科書販売）
必携書・参考書（教科書販売以外）
＜参考書＞ ・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ　大学生のための知的技法入門（第3版）』慶應義塾大学出版会、2020 ＊そのほかは授業時またはレジュメにおいて示す。
オフィスアワー
水曜3限あるいはアポイントメント
連絡先
okada@m.ndsu.ac.jp
留意事項
・manaba folioを利用するので、各自リマインダ登録しておくこと。 ・受講者の人数によっては、開講されない場合がある。 ・原則、継続して2期「キリスト教文化特講II」も履修することが望ましいが、半期のみの履修を妨げない。 ・受講者の人数によって、授業スケジュールに変更が生じる可能性がある。 ・高校までのような体系的知識の伝授を目指す座学中心の科目ではない。プレゼンテーションやレポートに向けて主体的に調べ、考え、言語化する姿勢が求められる。 ＊本科目は2022年度において「キリスト教文化特講II」（2期）として開講していた科目である。そのため、仮に同科目の単位を取得した学生が本科目の履修を希望する場合は、履修登録を完了させるよりも前に、必ずメールにて相談すること。

キリスト教文化特講II				単位数	2単位
授業コード	15825	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2023年度第２期
担当者氏名	岡田　紅理子				
時間割備考					
授業形態（主）	１講義				
授業形態（副）	２演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					

本授業の概要

キリスト教は世界最大の信者数を擁する宗教だといわれる。しかし、一口に「キリスト教」といっても、カトリック教会、プロテスタント教会、東方正教会に大別されるうえに、形成された背景、組織としてのあり方、信者が置かれてきた状況などはさまざまである。さらに、世界各地に広まっていくなかで、キリスト教は宣教地に影響を与えるだけではなく、自らもその土地の文化的要素を取り入れ、国・地域によって異なる発展を遂げてきた。
本科目のねらいは、「東アジア」および「東南アジア」と呼ばれる地域におけるキリスト教（特にカトリック教会）の歩みと現在のありようを、それぞれの土地の宗教、社会、文化との関係から検討することにある。2期では、1期の「キリスト教文化特講I」に続くものとして「東南アジア」に注目する。

アクティブラーニングの実施内容	発見学習

	到達目標	対応するディプロマポリシー（１知識・技能/２思考・判断・表現力/３主体性）
1	授業で取り上げられた国・地域の情報に偏ることなく、その土地のキリスト教の個別性を論理的かつ具体的に説明できる。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2	授業で取り上げられた国・地域のキリスト教のありようについて、関連性や共通性を考察できる。	思考・判断・表現力／主体性
3	授業に関連する事柄をインターネットに頼らず書籍・論文から主体的に調べ、課題に反映できる。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
4		
5		

	成績評価の基準	対応する到達目標の番号
1	授業に対する取り組み態度　20%	1／2
2	リアクションペーパーおよびプレゼンテーション　40%	1／2／3
3	レポート　40%	1／2／3
4		
5		

実務経験のある教員による授業科目	

実務経験の授業への活用方法

日本語以外の言語による授業	

授業予定一覧

1.　1期のおさらい
2.　「東南アジア」とは
3.　フィリピン
4.　プレゼンテーションの構想
5.　ミャンマー（ビルマ）
6.　カンボジア
7.　ベトナム
8.　タイ
9.　ラオス
10.　マレーシア
11.　シンガポール、ブルネイ
12.　インドネシア、東ティモール
13.　日本における外国籍者とカトリック教会
14.　レポート講評
15.　まとめ

定期試験
レポート
試験のフィードバックの方法
メールでの質問を受け付ける。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
（予習）講義で取り上げる国・地域における昨今の事情について新聞や雑誌で調べ、読む（30分）。 （復習）講義内容を確認、整理するとともに、紹介された書籍を読む（30分）。
必携書（教科書販売）
必携書・参考書（教科書販売以外）
＜参考書＞ ・佐藤望ほか『アカデミックスキルズ　大学生のための知的技法入門（第3版）』慶應義塾大学出版会、2020 ＊そのほかは授業時またはレジュメにおいて示す。
オフィスアワー
水曜3限あるいはアポイントメント
連絡先
okada@m.ndsu.ac.jp
留意事項
・manaba folioを利用するので、各自リマインダ登録しておくこと。 ・受講者の人数によっては、開講されない場合がある。 ・原則、1期に「キリスト教文化特講I」を履修していることが望ましいが、半期のみの履修を妨げない。 ・受講者の人数によって、授業スケジュールに変更が生じる可能性がある。 ・高校までのような体系的知識の伝授を目指す座学中心の科目ではない。プレゼンテーションやレポートに向けて主体的に調べ、考え、言語化する姿勢が求められる。

キリスト教文学特講ＩＩ				単位数	4単位
授業コード	15840	科目ナンバリング	410Z0-2340-o4	開講年度学期	2023年度第１期、2023年度第２期
担当者氏名	山根　道公				
時間割備考					
授業形態（主）	１講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					

本授業の概要

日本文学者のなかで生涯にわたり、キリスト教と深く関わり、それをテーマにした作品を書き続けた作家の代表として、Ｉ期には芥川龍之介、Ⅱ期には遠藤周作を取り上げる。それらの作家の生涯をたどりながら、そこから生まれたキリスト教的テーマをもつ作品を年代順に読み解くことで、神と悪魔、エゴイズムと愛、アガペーとエロス、父性的神と母性的神、罪と罰、愛と許し、同伴者イエス、人間存在の根源的渇望、人間と人間を超えたものとの関係と相克などのキリスト教的テーマを探究する。

アクティブラーニングの実施内容

到達目標		対応するディプロマポリシー（１知識・技能/２思考・判断・表現力/３主体性）
1	1. 各回の授業で取り上げる作品について自分の読解や意見を述べることができる。	思考・判断・表現力／主体性
2	2. 芥川龍之介の作品を、キリスト教に関係したテーマで分析してレポートにまとめることができる。	知識・技能／思考・判断・表現力
3	３. 遠藤周作の作品を、キリスト教に関係したテーマで分析してレポートにまとめることができる	知識・技能／思考・判断・表現力
4		
5		

成績評価の基準		対応する到達目標の番号
1	・授業中の発言・リアクションレポート…30%（到達目標1）	1
2	・Ｉ期末レポート…35%（到達目標2）	2
3	・Ⅱ期末レポート…35%（到達目標3）	3
4		
5		

実務経験のある教員による授業科目

実務経験の授業への活用方法

日本語以外の言語による授業

授業予定一覧

Ｉ期
1 日本の近代文学者とキリスト教について概説
2 芥川龍之介の破恋体験とキリスト教
3「老狂人」
4「羅生門」
5「鼻」「蜘蛛の糸」「杜子春」「白」
6「煙草と悪魔」「るしへる」
7「奉教人の死」
8「きりしとほろ上人伝」
9「南京の基督」
10「神々の微笑」
11「おぎん」「おしの」
12「歯車」
13「西方の人」
14「続西方の人」
15芥川龍之介の魂の渇望と死と聖書・（Ｉ期の期末レポート作成について）

Ⅱ期
1遠藤周作とキリスト教
2遠藤周作と母・岡山
3遠藤周作と留学・フランス
4「アデンまで」「白い人」「黄色い人」
5「海と毒薬」
6「おバカさん」「聖書のなかの女性たち」
7「わたしが・棄てた・女」
8「満潮の時刻」
9「沈黙」
10「死海のほとり」
11「侍」
12「女の一生」
13「スキャンダル」
14「深い河」
15遠藤周作の魂の故郷への帰還・（Ⅱ期の期末レポート作成について）

定期試験
Ⅰ期末レポート・Ⅱ期末レポート（課題の内容については授業中に説明する）
試験のフィードバックの方法
必要に応じてマナバで行う。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
○授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として読んで自分の意見をもって授業に臨むこと。（2時間程度） ○期末レポートの資料にできるように、毎回の授業の内容を復習し、まとめておくこと。（1時間程度）
必携書（教科書販売）
必携書・参考書（教科書販売以外）
読んでくるべき作品については授業中に指示する。 授業で資料を配布する。
オフィスアワー
オフィスアワーは金曜日１２：３０−１３：００。質問、相談等は随時、電子メールで受け付ける。
連絡先
yamane@m.ndsu.ac.jp
留意事項
○授業が一方通行にならないようにリアクションレポートに毎回、意見・質問等のメモを書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。

キリスト教文学特講IIA				単位数	2単位
授業コード	15841	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2023年度第１期
担当者氏名	山根　道公				
時間割備考					
授業形態（主）	１講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					

本授業の概要

日本文学者のなかでキリスト教と深く関わった作家として芥川龍之介を取り上げ、作家の生涯を追いながら、キリスト教や聖書と関わる作品を取り上げ、エゴイズムと愛、神と悪魔、アガペーとエロス、父性的神と母性的神、罪と罰、愛と許し、人間存在の根源的渇望、同伴者イエス等のキリスト教的テーマに注目して作品を読み解くことを目的とする。そうした作品分析を学ぶことで、分析の方法と論文へのまとめ方の技術を習得する。

アクティブラーニングの実施内容	

	到達目標	対応するディプロマポリシー（１知識・技能/２思考・判断・表現力/３主体性）
1	1. 各回の授業で取り上げる作品について自分の読解や意見を述べることができる。	思考・判断・表現力／主体性
2	2. 芥川龍之介の文学とキリスト教に関係したテーマで、その作品を読解、分析してレポートにまとめることができる。	知識・技能／思考・判断・表現力
3		
4		
5		

	成績評価の基準	対応する到達目標の番号
1	授業中の発言とリアクションレポート（30%）	1
2	Ｉ期末レポート（70%）	1／2
3		
4		
5		

実務経験のある教員による授業科目	

実務経験の授業への活用方法

日本語以外の言語による授業	

授業予定一覧

Ｉ期
1 日本の近代文学者とキリスト教について概説
2 芥川龍之介の破恋体験とキリスト教
3「老狂人」
4「羅生門」
5「鼻」「蜘蛛の糸」「杜子春」「白」
6「煙草と悪魔」「るしへる」
7「奉教人の死」
8「きりしとほろ上人伝」
9「南京の基督」
10「神々の微笑」
11「おぎん」「おしの」
12「歯車」
13「西方の人」
14「続西方の人」
15芥川龍之介の魂の渇望と死と聖書・（Ｉ期の期末レポート作成について）

定期試験
Ｉ期の期末レポート（課題の内容については授業中に説明する）
試験のフィードバックの方法
リアクションレポートに対する応答は授業内に行う。 期末レポートについては、必要に応じてマナバで行う。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として読んで自分の意見をもって授業に臨むこと（約2時間）。 期末レポートの資料にできるように、毎回の授業の内容を復習し、まとめておくこと（約1時間）。
必携書（教科書販売）
必携書・参考書（教科書販売以外）
〈参考書等〉 適宜、授業内で紹介する。
オフィスアワー
オフィスアワーは金曜日１２：３０−１３：００．質問、相談等は随時、電子メールで受け付ける。
連絡先
yamane@m.ndsu.ac.jp
留意事項
取り上げる作品は事前に読んで授業に臨むこと。 リアクションレポートに意見・質問などをまとめて提出してもらうので主体的に授業に臨むこと。

キリスト教文学特講IIB				単位数	2単位
授業コード	15842	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2023年度第２期
担当者氏名	山根　道公				
時間割備考					
授業形態（主）	１講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					

本授業の概要

今年、生誕百年で注目されている、日本の現代文学者のなかでキリスト教と深く関わった作家の代表として世界的にも評価の高い、岡山とも関係の深い遠藤周作を取り上げる。作家の生涯を追いながら、人間と人間を超えたものとの関係と相克、エゴイズムと愛、アガペーとエロス、父性的神と母性的神、罪と罰、愛と許し、人間存在の根源的渇望、同伴者イエス等のキリスト教的テーマに注目し、作品を読み解くことを目的とする。そうした作品分析を学ぶことで、分析の方法と論文へのまとめ方の技術を習得する。

アクティブラーニングの実施内容

到達目標		対応するディプロマポリシー（１知識・技能/２思考・判断・表現力/３主体性）
1	1. 各回の授業で取り上げる作品について自分の読解や意見を述べることができる。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2	2. 遠藤周作の文学とキリスト教に関係したテーマで、その作品を読解、分析してレポートにまとめることができる	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
3		
4		
5		

成績評価の基準		対応する到達目標の番号
1	・授業中の発言・リアクションレポート…30%	1
2	・Ⅱ期末レポート…70%	2
3		
4		
5		

実務経験のある教員による授業科目

実務経験の授業への活用方法

日本語以外の言語による授業

授業予定一覧

Ⅱ期
1遠藤周作とキリスト教
2遠藤周作と母と岡山
3遠藤周作と留学・フランス
4「アデンまで」「白い人」「黄色い人」
5「海と毒薬」
6「おバカさん」「聖書のなかの女性たち」
7「わたしが・棄てた・女」
8「満潮の時刻」
9「沈黙」
10「死海のほとり」
11「侍」
12「女の一生」
13「スキャンダル」
14「深い河」
15遠藤周作の魂の故郷への帰還・（Ⅱ期の期末レポート作成について）

定期試験
期末レポート（課題の内容については授業中に説明する）
試験のフィードバックの方法
必要に応じてマナバで行う。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
○授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として読んで自分の意見をもって授業に臨むこと。（2時間程度） ○期末レポートの資料にできるように、毎回の授業の内容を復習し、まとめておくこと。（1時間程度）
必携書（教科書販売）
新潮文庫編『文豪ナビ　遠藤周作』新潮文庫 2023年　ISBN978-4-10-112300-4
必携書・参考書（教科書販売以外）
読んでくるべき作品については授業中に指示する。 授業で資料を配布する。
オフィスアワー
オフィスアワーは金曜日１２：３０−１３：００。質問、相談等は随時、電子メールで受け付ける。
連絡先
yamane@m.ndsu.ac.jp
留意事項
○授業が一方通行にならないようにリアクションレポートに毎回、意見・質問等のメモを書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。

キリスト教文学特講I				単位数	2単位
授業コード	15850	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2023年度第１期
担当者氏名	山根　道公				
時間割備考					
授業形態（主）	１講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					

本授業の概要

日本文学者のなかでキリスト教と深く関わった作家として芥川龍之介を取り上げ、作家の生涯を追いながら、キリスト教や聖書と関わる作品を取り上げ、エゴイズムと愛、神と悪魔、アガペーとエロス、父性的神と母性的神、罪と罰、愛と許し、人間存在の根源的渇望、同伴者イエス等のキリスト教的テーマに注目して作品を読み解くことを目的とする。そうした作品分析を学ぶことで、分析の方法と論文へのまとめ方の技術を習得する。

アクティブラーニングの実施内容

	到達目標	対応するディプロマポリシー（１知識・技能/２思考・判断・表現力/３主体性）
1	1. 各回の授業で取り上げる作品について自分の読解や意見を述べることができる。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2	2. 芥川龍之介の文学とキリスト教に関係したテーマで、その作品を読解、分析してレポートにまとめることができる。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
3		
4		
5		

	成績評価の基準	対応する到達目標の番号
1	授業中の発言とリアクションレポート（30%）	1
2	Ｉ期末レポート（70%）	1／2
3		
4		
5		

実務経験のある教員による授業科目

実務経験の授業への活用方法

日本語以外の言語による授業

授業予定一覧

Ｉ期
1 日本の近代文学者とキリスト教について概説
2 芥川龍之介の破恋体験とキリスト教
3「老狂人」
4「羅生門」
5「鼻」「蜘蛛の糸」「杜子春」「白」
6「煙草と悪魔」「るしへる」
7「奉教人の死」
8「きりしとほろ上人伝」
9「南京の基督」
10「神々の微笑」
11「おぎん」「おしの」
12「歯車」
13「西方の人」
14「続西方の人」
15芥川龍之介の魂の渇望と死と聖書・（Ｉ期の期末レポート作成について）

定期試験

Ｉ期の期末レポート（課題の内容については授業中に説明する）

試験のフィードバックの方法

リアクションレポートに対する応答は授業内に行う。
期末レポートについては、必要に応じてマナバで行う。

準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間

授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として読んで自分の意見をもって授業に臨むこと（約2時間）。
期末レポートの資料にできるように、毎回の授業の内容を復習し、まとめておくこと（約1時間）。

必携書（教科書販売）

必携書・参考書（教科書販売以外）

〈参考書等〉
適宜、授業内で紹介する。

オフィスアワー

オフィスアワーは金曜日１２：３０−１３：００．質問、相談等は随時、電子メールで受け付ける。

連絡先

yamane@m.ndsu.ac.jp

留意事項

取り上げる作品は事前に読んで授業に臨むこと。
リアクションレポートに意見・質問などをまとめて提出してもらうので主体的に授業に臨むこと。

キリスト教文学特講II				単位数	2単位
授業コード	15855	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2023年度第２期
担当者氏名	山根　道公				
時間割備考					
授業形態（主）	１講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					

本授業の概要

今年、生誕百年で注目されている、日本の現代文学者のなかでキリスト教と深く関わった作家の代表として世界的にも評価の高い、岡山とも関係の深い遠藤周作を取り上げる。作家の生涯を追いながら、人間と人間を超えたものとの関係と相克、エゴイズムと愛、アガペーとエロス、父性的神と母性的神、罪と罰、愛と許し、人間存在の根源的渇望、同伴者イエス等のキリスト教的テーマに注目し、作品を読み解くことを目的とする。そうした作品分析を学ぶことで、分析の方法と論文へのまとめ方の技術を習得する。

アクティブラーニングの実施内容	

到達目標		対応するディプロマポリシー（１知識・技能/２思考・判断・表現力/３主体性）
1	1. 各回の授業で取り上げる作品について自分の読解や意見を述べることができる。	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2	2. 遠藤周作の文学とキリスト教に関係したテーマで、その作品を読解、分析してレポートにまとめることができる	知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
3		
4		
5		

成績評価の基準		対応する到達目標の番号
1	・授業中の発言・リアクションレポート…30%	1
2	・Ⅱ期末レポート…70%	2
3		
4		
5		

実務経験のある教員による授業科目	

実務経験の授業への活用方法

日本語以外の言語による授業	

授業予定一覧

Ⅱ期
1遠藤周作とキリスト教
2遠藤周作と母と岡山
3遠藤周作と留学・フランス
4「アデンまで」「白い人」「黄色い人」
5「海と毒薬」
6「おバカさん」「聖書のなかの女性たち」
7「わたしが・棄てた・女」
8「満潮の時刻」
9「沈黙」
10「死海のほとり」
11「侍」
12「女の一生」
13「スキャンダル」
14「深い河」
15遠藤周作の魂の故郷への帰還・（Ⅱ期の期末レポート作成について）

定期試験
期末レポート（課題の内容については授業中に説明する）
試験のフィードバックの方法
リアクションレポートに対する応答は授業内に行う。 期末レポートについては必要に応じてマナバで行う。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
○授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として読んで自分の意見をもって授業に臨むこと。（2時間程度） ○期末レポートの資料にできるように、毎回の授業の内容を復習し、まとめておくこと。（1時間程度）
必携書（教科書販売）
新潮文庫編『文豪ナビ　遠藤周作』新潮文庫 2023年　ISBN978-4-10-112300-4
必携書・参考書（教科書販売以外）
読んでくるべき作品については授業中に指示する。 授業で資料を配布する。
オフィスアワー
オフィスアワーは金曜日１２：３０−１３：００。質問、相談等は随時、電子メールで受け付ける。
連絡先
yamane@m.ndsu.ac.jp
留意事項
○授業が一方通行にならないようにリアクションレポートに毎回、意見・質問等のメモを書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。